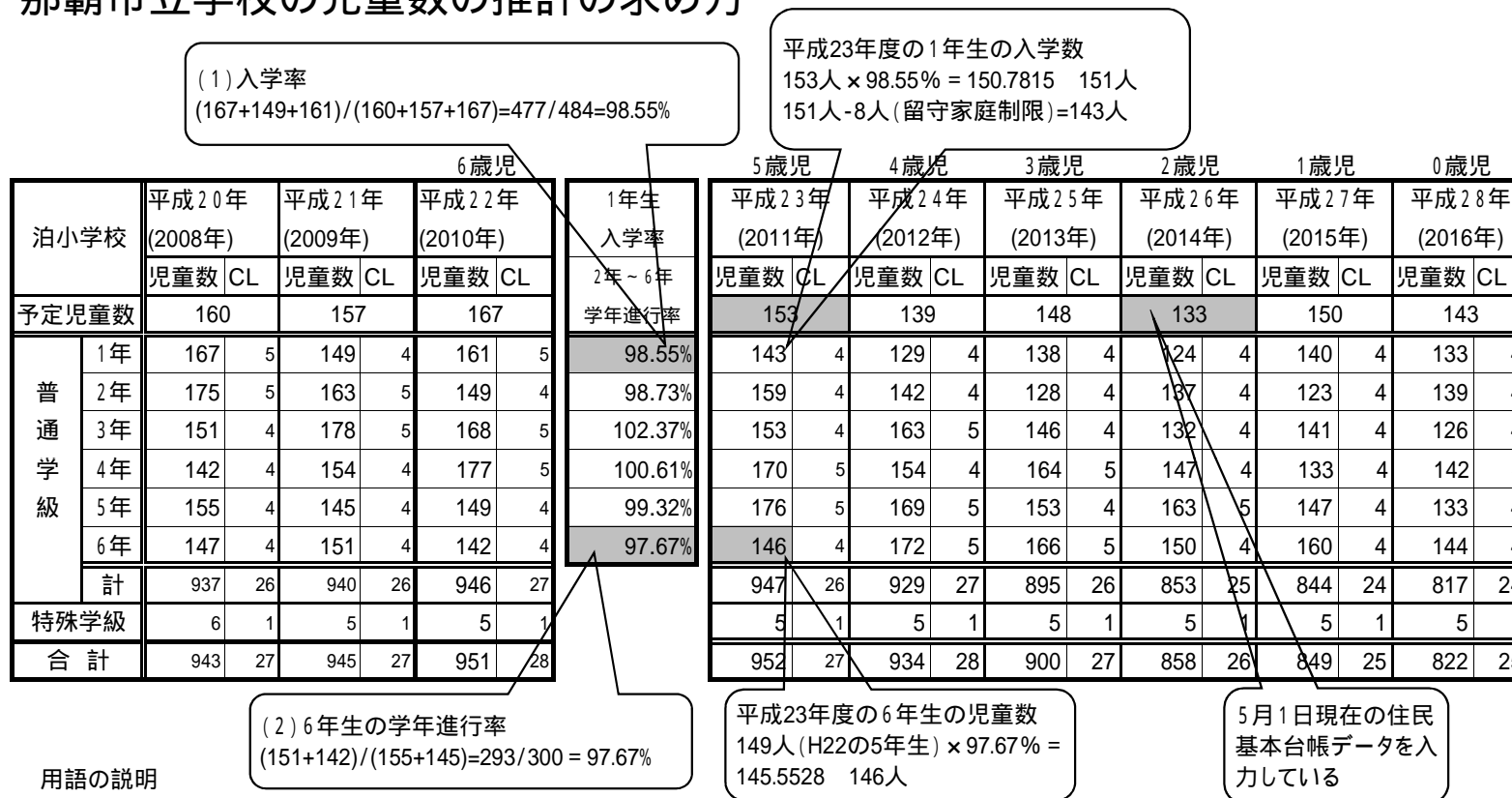


増減要因の減要因

\* 平成22年度開始1学年当りの8人減

\* 泊小の留守家庭による指定校変更実績 (60名(19年度)+47名(20年度)+42名(21年度))÷3年÷6学年=8.3 8名

## 那覇市立学校の児童数の推計の求め方



用語の説明

(1) 入学率: 当該通学区における住民基本台帳の新1年生の児童・生徒数に対して、実際にその学校に入学した児童・生徒数の割合。  
 (隣接校選択制や指定校変更による入学者を含む)

計算式は、当該通学区における、直近3ヵ年の新1年生入学者数を直近3ヵ年の住民基本台帳の人数で割っています。

(2) 学年進行率: 前年度に在籍していた児童・生徒数に対して、現年度に進級した在籍児童・生徒数の割合。

計算式は、前々年度と前年度の在籍者数を前年度と現年度に進級した在籍した在籍者数で割っています。

(3) 増減要因

(増要因) 集合住宅等建設見込みからの児童・生徒数の増加分です。原則として100戸以上の住宅の建設計画を対象としています。

(減要因) 指定校変更許可基準(留守家庭)の適用を除外したことからの児童数の減少分です。